

## —スタッフ—

役 職	スタッフ名
診療局長兼医療安全管理室長	久場 良彦
中央手術室長兼麻酔科部長	小林 俊司
部 長	仲谷 憲
副部長	荒井 章臣
医 長	足立 匡司
医 長	米本 紀子
医 長	井戸 和己
医 員	土井 浩義
非常勤医員	森本 正昭

## —概要—

当院麻酔科は、かつては大学医局からの医師派遣を受けておりました。しかし、医師不足のあおりを受け、平成20年度初めに常勤麻酔科医がゼロとなり、以後公募に切り替えて現在に至っています。平成20年9月、小林俊司医師が公募による初の常勤麻酔科医として赴任し、以後少しずつ常勤医が増加しました。平成22年度には常勤医7名、非常勤医1名、後期研修医1名となり、麻酔科業務のほとんどを常勤スタッフだけで行えるようになりました。常勤スタッフはベテラン揃いの布陣で、その多くは10～15年以上のキャリアを持っています。常勤医のうち6名は、麻酔科標榜医・日本麻酔科学会専門医もしくは指導医であり、1名が麻酔科標榜医です。

平成24年度の年間総麻酔管理件数(手術室内のみ)は2,613件と、平成23年度の2,446件より増加しました。その中で全身麻酔は2,453件でした。当麻酔科は原則として、依頼のあった手術麻酔は予定、緊急の全てを受け入れております。また上記統計には含まれていませんが、手術室外でも、血管造影室で行う、脳神経外科の脳動脈瘤に対するコイル塞栓術や、歯科口腔外科の動注管設置術などの麻酔を行っています。

平成23年度秋頃より、麻酔科は集中治療室の運営にも協力することになりました。集中治療室の患者管理体制は主治医制のままですが、日勤・当直帯の医師常駐業務の一部を麻酔科も担うことになりました。

研修医、若手医師の教育に重点を置くことや、救急救命士の挿管実習に貢献することは、平成20年度からの目標でしたが、平成24年度には、2年目研修医1名、1年目研修医7名、救急救命士の挿管実習生3名、挿管実習再教育者4名を受け入れることができました。麻酔科では毎週、論文抄読会、および問題症例検討会を開催し、最新の医学情

報に接するとともに、各自が勉強を怠らないよう努めています。また後期研修医を中心として、常に臨床研究を行うよう指導するとともに、麻酔の主要学会では、必ず演題を出せるようにしています。

また、麻酔科医は次のような、院内の様々な診療部門、ケアチームに参加しています。

## ＝ペインクリニック＝

ペインクリニックでは麻酔の疼痛管理を応用し、様々な難治性疼痛、慢性痛を治療していきます。対象疾患としては、帯状疱疹後神経痛、退行性骨関節症が大半ですが、脳卒中後痛、遷延する術後痛、局所複合性疼痛症候群CRPS、三叉神経痛、四肢血行障害性疼痛(レイノー症候群、ASO)、癌性痛なども含まれます。(米本紀子副医長、古家仁奈良県立医大教授)(近畿大学医学部麻酔科等と連携)

## ＝緩和ケアサポートチーム＝

緩和ケアサポートチームは、2009年4月に、多職種構成で院内横断的な診療支援グループとして発足しました。現在の職種構成は、医師(麻酔科、外科、診療内科)、看護師、薬剤師、栄養士より成っています。活動は、週一回のラウンド(火曜日の午後)を基本として、随時コンサルトを各診療科から受けています。日常診療以外では、りんくう緩和ケア講演会と厚生労働省認定の緩和ケア研修会を開催しています。(仲谷憲部長)

## ＝災害派遣医療チーム(DMAT)＝

DMATとは「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略してDMAT(ディーマツト)と呼ばれています。医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。(足立匡司医長)

## ＝呼吸ケアサポートチーム(RST)＝

呼吸ケアサポートチーム(Respiratory care Support Team:RST)は、2010年度より発足しました。麻酔科医師、臨床工学士、理学療法士、看護師でチームを組み、院内の

人工呼吸器を装着されている患者さまに対し、主治医とともに呼吸ケアを行っています。（荒井章臣副部長）

平成24年度の当院麻酔科は、基盤をより強固にし、その仕事内容を質的に高めることができたと自負しております。また、私たち麻酔科医が非常に働きやすい環境、雰囲気が実現しており、さまざまな医療スタッフや事務の方々、市の関係者の皆さんには、心から感謝したいと思います。平成25年度以降は、基本である手術麻酔の質と量を高い水準で維持するとともに、病院の運営方針に従い、必要があれば更に広範囲の分野で、麻酔科の職責を果たしていこうと考えております。

—実績—

	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科口腔科	腎臓内科	リハビリテーション科	救急科	合計
予定症例	564	263	108	124	75	108	358	161	8	423	87	11	0	2	2,292
緊急症例	80	10	7	34	0	41	11	135	0	2	0	0	1	0	321
計	644	273	115	158	75	149	369	296	8	425	87	11	1	2	2,613

